

(仮称)
下米田たからこども園
説明会資料

学校法人 則竹学園



※「下米田たからこども園」は現時点では仮の名称です



“つながり”こどもえん

こどもがつながる	—	おやこがつながる
ひとりひとりがつながる	—	ちいきがつながる
れきしがつながる	—	ぶんかがつながる
こころがつながる	—	“よねだ”がつながる

私たちは美濃加茂市で50年以上にわたり、地域の幼児教育・保育事業に携わらせていただきました。

今までお世話になってきた地元だからこそ、

未曾有の少子化時代であっても、

「私たちの本業である幼保事業を通して地元活性に貢献したい」

その想いを今次計画で実現させるべく、

「地域のことは地域のことで」という考えに共感し、

私たちの手でまちづくり活動の一翼を担わせていただきます。

「地域とともに未来を育むこどもえん」
～歴史を紡ぎ、地域を繋ぎます～
～未来をつくる子どもたちを共に育みます～

法人保育理念

『一人ひとりを尊重した保育』

0歳から5歳までの乳幼児期を人としての「こころの根っこ」を育てる時期と捉えています。この時期の育ちは、人の一生の中で最も大切で、奥深い時期と感じており、そんな中で認定こども園が果たす役割は、非常に大きいと認識しています。集団の中で、子どもたちが自分を認め、相手を認め、育ちあう場を創っていきたいと考えています。そのためには、「一人ひとりを尊重する」という考え方が重要になると考えております。「手は出さずに、目は離さない」をモットーに、個性豊かな子どもたちを、そのまま受け止められる私たちでありたいと思います。



保育方針

- ・ 安心して、健やかに生活できる環境を整えます。
- ・ 信頼関係を築くことで、情緒の安定を図ります。
- ・ 一日の中に絵本の読み聞かせの時間を位置づけています。
- ・ 豊かな遊びの中で育ちあい、自信や意欲、主体性を育みます。
- ・ 生活する中で見通しを持ち、自分で考え、行動できる力を育みます。



■ 絵本を大切にした保育 ～お気に入りの絵本との“つながり”～

感受性が豊かな乳幼児期に、まずは豊かな日本語にたくさん触れることがとても重要で、それは子どもの創造力に繋がっていると考えます。

乳幼児期には、日本語の語彙を3,000語以上獲得することが大切だと言われています。絵本作家が選んだ、美しくてもおもしろい語彙にたくさん触れ、言葉のシャワーを浴びる事で、想像力の豊かな人になってほしいと願っています。

その為、園児や保護者、教職員にとって、絵本が『当たり前存在』として、身近なものであって欲しいと願い、1日に少なくとも3回の読み聞かせを実施すると共に、ご家庭への貸し出しも行う予定であります。

「大好きな絵本」に出会えることは、心が育っている証であり、自分の『好み』がいずれ定着するきっかけになります。そして、その子にとって、大人になっても忘れることのない一生の『宝』になります。

私たちは、子育てにおいて「絵本」は必須のアイテムだと考えています。

■ 「本物」と“つながる” 保育

豊かな時代になり、便利なものが溢れていて、何でも身近に感じられる昨今だからこそ、「本物」を体感することが重要であると考えています。特に、感性の発達が著しい幼児期においては、「観劇」、「音楽鑑賞」等、たくさんの本物に触れて感受性を育めるような環境を提供してまいります。

年長児は「能楽お囃子体験会」で日本の伝統文化に触れることで、感性を磨くと同時に、グローバルな時代だからこそ日本文化を発信できる人材になってほしいと願っています。

■ 心ゆくまで遊ぶ

大人が手を出すことなく、子どもが心ゆくまで挑戦(=遊ぶことが)できる環境を狙います。子どもたちの身体能力や思考に合わせて、どんどんチャレンジ精神が刺激され、達成感につながる様な環境設定を行います。

■ 子どもの発達に合わせた保育内容

一人ひとりに寄り添い、個々の子どもの発達を理解したうえで保育内容を考え、全体保育ではなく、子どもの主体性を重視した保育を取り入れます。子どもの声を保育に直接的に反映させた日課編成を行います。常に子どものありのままを信じて受け入れ、認めることで、子どもの味方であること、大切に思っていることを伝え続け、子どもの自己肯定感を育んでいきます。

■ 子ども主体

子どもたち自ら「なんだろう?」「やってみたい」と興味、関心をもてるような環境設定を大切にしています。活動の中で保育者から指示をするのではなく、子ども自身が問題意識を持ち、自発的に考えて行動に移せるよう、保育者はそのきっかけ作りに注力します。意見が分かれたときは、子どもたち同士で話し合い解決し、育ちあえるよう、一人ひとりの思いを大切に声掛けを行います。



事業概要

①施設類型：幼保連携型認定こども園

※認定こども園→1号認定のお子さんも受け入れ可能。

②定員設定：合計120名（1号認定:15名 2号認定:72名 3号認定:33名）

※今後、市内保育施設との調整により変更の可能性あり。

③対象年齢：生後10カ月以上

④開園時間・保育時間

開園時間：午前7時30分～午後6時30分（11時間開所）

保育時間：教育時間認定（1号認定）：午前8時30分～午後3時00分

：標準時間認定（2.3号認定）：午前7時30分～午後6時30分

：短時間認定（2.3号認定）：午前8時30分～午後4時30分

⑤休園日

日曜日、祝祭日、年末年始、その他園が定める日（年間カレンダーに準ずる）

⑥その他

- ・土曜日保育については、たから幼稚園との合同保育を実施。（対象：2.3号認定）
- ・一時預かり保育事業（一般型）



年間行事

地域の方々との“つながり”を意識した年間行事を実施予定です。

こども園と地域との連携メニュー「レシピ集」を参考に、地域の方々にご協力いただきながら、子ども、保護者の方々、そして地域の方々が一堂に会し、下米田に住む人々がこども園を介して交流する機会となれば幸いです。

※移行時は、現下米田保育園様の流れを引き継ぎ、保護者の方や、子ども達が戸惑うことの無いよう大きな変更は行いません。

引継ぎについて

令和7年度4月より、たから幼稚園から保育士2名を現下米田保育園に派遣し、引継ぎを行います。スムーズな移行が出来るよう、精一杯努めてまいります。

購入品と徴収金について

保育用品については、現在お使いの物をご利用いただきます。消耗品以外は新しくご購入していただく必要はありません。

指定服については数年の間に移行していきませんが、現在使用しているものやごきょうだいの物もご利用いただけます。

購入品、給食費、保育料については現在の金額と変わらない予定です。

(物価の高騰により、メーカーでの値上げが生じた場合はそれに準じます。)

冷暖房費、セキュリティ等施設に関わる経費として、設備費を月額1,500円を頂戴します。

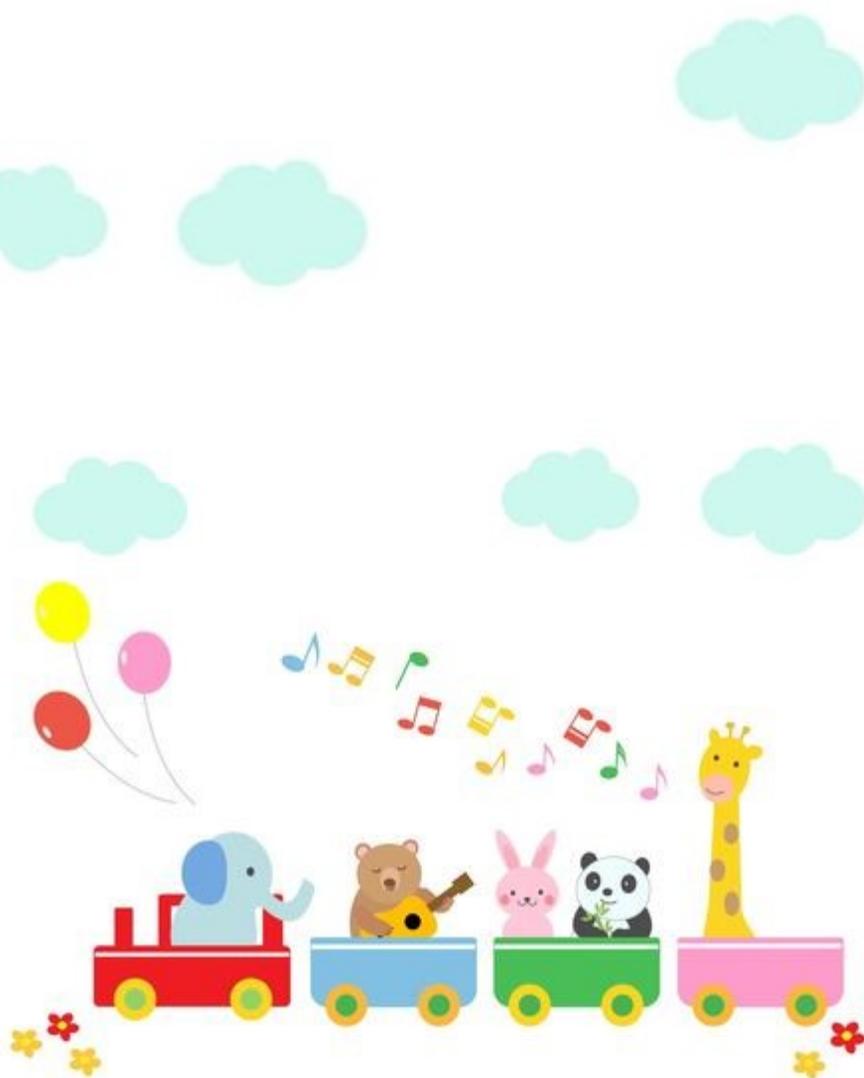


課外教室の実施について

現たから幼稚園では希望者のみ下記の課外教室への参加が可能です。
※園内で行いますので、送迎不要です。

下米田たからこども園でも同様に実施していく予定です。
今後保護者様からのご希望があれば、随時実施検討していく予定です。

- ・英会話教室
- ・体操教室
- ・造形教室



新園舎について

工事期間:令和7年5月～令和8年1月

完成予定:令和8年2月

設計会社:株式会社 SAI+設計事務所

工事会社:未定(令和7年3月頃選定予定)

旧園舎解体工事(美濃加茂市):令和8年10月頃完了予定

園庭整備:令和8年12月以降

①工事中の園庭、プール、ホールについて

園庭は半分以上が使用できなくなり、プールの利用もできない可能性があります。

ホール周辺工事は工事後半に行い、現下米田保育園の活動にできる限り支障が出ないように配慮をさせていただきます。

現下米田保育園の先生方と密に連携を取り、園の活動を優先させた工事スケジュールを作成していきます。

工事期間中、皆様にはご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承賜ります様、お願い申し上げます。

(工事期間中 仮囲い案を参照ください。)

②園舎のテーマは『つながり保育』

子ども同士異年齢のつながりが持てるよう、ランチルームや絵本スペースを設ける予定でいます。子どもたちが落ち着いて生活ができるよう、家庭的な温かみある雰囲気大切に現在考案しているところです。

(イメージパースをご参照ください。)



変わること

- ★運営:美濃加茂市 → 学校法人 則竹学園
- ★形態:保育園 → 認定こども園
- ★名称:下米田保育園 → 下米田たからこども園
- ★職員:公立保育士 → 法人保育教諭
- ★園舎、園庭
- ★設備費として毎月1,500円徴収
- ★すぐーるアプリ→こどもんアプリ

変わらないこと

- ★保育内容
- ★保育行事
- ★保育料、給食費
- ★保育時間

入園について

1号認定:受付は園です。

2. 3号認定:受付はお住まいの市町村です。

説明会開催案内

【日程】8/5(月)・6(火)・7(水)・8(木)

【時間】10:30～

【場所】たから幼稚園 (岐阜県美濃加茂市太田町1735番地)

【要予約】お電話にて承ります。(0574-26-3622)担当:渡辺、久保澤、岸

